

2026 年 7 月 18 日 (土)

SUPER FORMULA 第 6 戦 予選・決勝

富士スピードウェイ

予選結果

#64 : 10 位

#65 : 14 位

決勝結果

#64 : 13 位

#65 : 6 位

概要

- ・予選はフラガが Q1 でノックアウトとなったが、佐藤は Q2 へ進出し 10 番手
- ・決勝はフラガが 8 ポジションアップの 6 位、佐藤は後半のペースが上がらず 13 位フィニッシュ

コメント

総監督：中嶋 悟

「予選がうまくいかなかったわりには、フラガがしっかりとポイントを取ってくれたのは良かった点だと思います。一方で佐藤は、タイヤ交換後にペースが伸び悩み、ポジションを落としてしまったのは残念でした。明日も 2 レースありますので、今日の内

容をしっかり振り返り、2 台ともに上位で終わられるように引き続き頑張ります」

監督：伊沢 拓也

「今大会を前に富士で行なわれた合同テストが非常に好調だったので、今回は勝ちに行かなければならないと考えて臨みました。昨日のフリー走行はウェットコンディションでしたが、その中で好調だったイゴール選手が、今日の予選で Q1 敗退になるとは正直思っていませんでした。佐藤選手も Q1 は良かったものの、Q2 で伸び悩んでしまいました。決勝では、スタート後に佐藤選手が少しポジションを落としたことで 2 台が近い位置で走る展開になったことと、序盤に雨がぱらついたことが重なり、レースの組み立てが難しくなりました。周囲が様子見の状況の中で、僕たちはポイント圏外にいたこともあり、少し早めのピットインを選択しました。イゴール選手はセカンドスティントのペースが非常に良く、ピットイン前は 12～13 番手あたりを走行していたところから、6 番手までポジションを上げてくれたのは大きな収穫でした。佐藤選手もペースが良い場面はあったのですが、タイヤ交換後は思うように伸ばすことができず、結果的にポイント圏外でのフィニッシュになってしまいました。2 台体制で戦っている強みを活かし、今回のレースで見えた 65 号車の良かった部分を 64 号車にもフィードバックしていきます。明日の第 2 レースでは、2 台そろって上位でフィニッシュし、この富士ラウンドをしっかりと締めくくりたいと思います」

#64：佐藤 蓮

「昨日まで少し不調だったウェットコンディションでしたが、アジャストを加えた結果クルマが大きく変化し、それが良い方向に出たのが今日の Q1 だったと思います。ただ、Q2 に向けてはウォームアップのやり方やセットアップの方向性を少し間違えてしまい、その点は非常に悔しいところです。決勝では、まずスタートでクラッチのバイトが良くなく、なかなか反応しないうちに周りに飲み込まれてしまいました。雨も降ってきたこともあり、周りとは逆の戦略を採って後半の追い上げを目指しましたが、最終的にはペースが上がらず、防戦一方という展開になってしまい、ポイントも獲れずに反省点の多い一日になってしまいました。チームとしてはイゴール選手のペースが非常に良かったので、お互いの違いがどこにあったのかをしっかりと確認し、明日は強いレース内容とリザルトを残せるように臨みたいと思います」

#65 : イゴール・オオムラ・フラガ

「昨日のフリー走行はリザルトこそそこそこでしたが、自分の中では感触が良くて、ウェットコンディションの予選に対しても大きな不安はありませんでした。ただ、いざ走ってみると雨量のわりにグリップ感がなくて、戻ってきてタイムを確認すると、やはり思っていたほどの位置には届いておらず、残念ながら Q1 突破とはなりませんでした。決勝の序盤は抜きつ抜かれつの苦しい展開でしたが、少しレースが落ち着いたタイミングでタイヤ交換をしてセカンドスティントに入ってから、状況が良くなりました。ファーストスティントのときよりもしっかりとタイヤに熱を入れることができましたし、クリーンエアで走れたこともあって、自分たちのペースを出せたと思います。その背景には、レース序盤の苦しい中でも粘って走り切ったことがつながっているのかなと感じています。今日のレース内容は、明日のレースのベースになると思っています。一方で、今回の週末はリザルト以上に『何が良くて、何が悪かったのか』が自分の中でまだはっきりしきれておらず、そのモヤモヤが気になっています。明日はそのあたりをしっかりと整理できるようなレース内容とリザルトにして、納得して週末を締めくくりたいです」

※明日（19 日）は第 7 戦の公式予選が 10 時 25 分から行なわれます。